

2015年9月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
誌上発表		
1	著者名	小島 肇夫
	総説題名	昨今の皮膚毒性評価法の動向
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	谷本学校毒性質問箱, 17, 8-14(2015)
2	著者名	小島 肇夫
	総説題名	動物実験代替法の変遷と最新動向
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	日本化粧品学会誌 創立40周年記念, 39, 72-75(2015)
国際学会		
1	参加者名	Kojima H
	開催場所, 年月	The JaCVAM / OECD activities on the comet assay (コメントアッセイにおけるJaCVAM/OECD活動)
	会議内容(150字以内)	11th International Workshop of Comet assay Workshop (2015.9) (Antwerp, Belgium)
2	参加者名	Kojima H
	開催場所, 年月	Development and validation of alternative to animal testings (動物実験代替法の開発とバリデーション)
	会議内容(150字以内)	ITRI seminar(2015.9) (Shinchiku, Taiwan)

3	参加者名	Kojima H
	開催場所, 年月	The Asian Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences 2016 (アジア動物実験代替法会議2016)
	会議内容(150字以内)	16th Annual Congress of European Society of Alternatives to Animal Testing (2015.9) (Linz, Austria)
レギュラトリーサイエンス学会		
1	参加者名	小島 肇
	会議名(英文の場合は和訳も記載)	NICEATM-ICCVAM-JaCVAM Coordination Meeting(日米代替法評価センター)協力会議
	開催場所, 年月	米国毒性プログラム, リサーチトライアングル, ノースカロライナ州, 米国(2015.9)
	会議内容(150字以内)	日米の代替法センターの現状が報告され, 課題などについて話し合った.